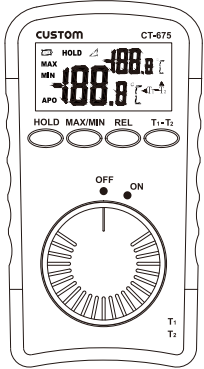


空調用2点計測デジタル温度計
CT-675



取扱説明書

このたびは当社の空調用 2 点計測デジタル温度計をお求めいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読み頂き、正しくご使用ください。なお、お読みいただきました後も、この取扱説明書を大切に保管してください。

保証書

株式会社 カスタム

保証規定

本器は当社基準に基づき検査により合格したもので、下記の保証規定により保証いたします。

1. 保証期間中に正常な使用状態で、万一故障等が生じた場合は無償で修理いたします。

2. 本保証書は、日本国内でのみ有効です。

3. 下記事項に該当する場合は、無償修理の対象から除外いたします。

a 不適当な取扱い、使用による故障

b 設計仕様条件等を越えた取扱い、または保管による故障

c 当社もしくは当社が委嘱した者以外の改造または修理に起因する故障

d その他当社の責任とみなされない故障

e 消耗品および付属品の故障

型番	CT-675	シリアルNo.	
保証期間	年 月 日 より1か年		
お客様	お名前		
	ご住所		
	電話番号		
販売店	住所・店名		
	販売店様へ		

お手数でも必ずご記入の上お客様へお渡しいください。

〒101-0021 東京都千代田区外神田 3-6-12
TEL: 03(3255)1117 FAX: 03(3255)1137
https://www.kk-custom.co.jp/

お問い合わせ窓口電話 03-3255-1117

受付時間 9:00 ~ 17:30 (土、日、祝日を除く)

製品に関するお問い合わせは、接続後「2」番を押してください。

安全にご使用いただくために

本器をご使用になる前に安全上のご注意と取扱説明書をよくお読みください。

安全上のご注意 必ずお守りください

警告

人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

注意

人が傷害または財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

警告

- 指定の方法、条件以外での使用は絶対に行わない。
過度の衝撃や振動を与えない。
本器を破損したり重大事故を引き起こす恐れがあります。
- 通電されている裸線や装置内部の温度測定は絶対に行わない。
本器を破損したり重大事故を引き起こす恐れがあります。
- 電子レンジなどのマイクロ波加熱炉の温度測定は絶対に行わない。
本器を破損したり重大事故を引き起こす恐れがあります。
- 故障が疑われる場合は使用しない。
使用前に亀裂、破損等の異常がないかを十分確認し、本器の使用中に異常が発生した場合は、すぐに使用を中止する。
- センサー部の取り扱いに注意する。
クリップ部で指を挟まない様にご注意ください。
クリップ部を無理に開いたり、ツマミ以外の所を持ってクリップ開かないでください。
- クリップを開いた時の寸法以上の場所を挟まない。
クリップが外れてしまう事があります。
- 測定対象物が高温、または低温である場合はセンサー(温度感知部)に触らない。
温度感知部が熱くなったり、冷たくなったりして、やけどや怪我を引き起こす恐れがあります。
- 本器の分解、改造は行わない。
修理、校正が必要な場合は、当社もしくは購入された販売店にお問い合わせください。
- 本器を加熱したり火中に投入しない。
破裂による火災、怪我の恐れがあります。
- 電池は乳幼児の手の届かない所に置く。
万一、電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。
- 電池を火に入れたり、加熱、分解、改造などしない。
- 電池のプラス、マイナスを逆にして使用しない。
- 付属の電池を充電しない。
充電すると液漏れ、発熱、破裂の恐れがあります。
- 電池のプラス、マイナスを針金などで接続したり、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管をしない。
- 使い切った電池はすぐ本器から取り出す。
- 濡れた手で電池交換をしない。
感電の危険があります。
- 指定されている電池以外は使用しない。
- 電池を交換する際は、必ず電源を切ってから行う。
- 電池交換後は必ず裏蓋を締めてから使う。
- 長期間使用しない場合には、本器から電池を取り出す。

注意

- 仕様外の高温や低温、結露の発生するところ、ホコリの多いところでの使用や保管はしない。
本器は精密な電子部品でつくられています。
- 周囲に雑音が発生させる装置のある場所や、急激な温度変化のある場所では使用しない。
表示が不安定になったり、誤差の原因となります。
- 外部の強力なノイズ等により測定ができなくなった場合や、表示に異常が発生した場合は本器の電源を切る。
しばらくしてから電源を入れなおしてください。
- 水に濡らしたりしない。
本器は防水設計ではありません。故障の原因となります。
- 空調設備等の機器以外では使用しない。
感知部の劣化や本器の故障の原因となります。

1. 概要

- 本器はクリップセンサー式のデジタル温度計です。
- 2チャンネルのセンサーで2カ所の温度測定ができます。
- 最高温度、最低温度表示、リラティブ表示(相対値表示)、T1-T2表示(温度差表示)の各機能があります。
- ホールド機能でT1とT2の温度値を同時に固定表示できます。
- オートパワーオフ機能付き(30分)

2. 仕様

センサータイプ	サーミスタ
測定範囲	T1:-50℃～+100℃、T2:-50℃～+100℃
分解能	0.1℃
確度	±1℃(-20.0℃～+60.0℃) ±2℃(-50.0℃～-20.1℃、+60.1℃～+100.0℃) (本体温度:23℃±5℃の時)
付加機能	オートパワーオフ(解除可)、データホールド、MAX/MIN、REL、T1-T2機能
サンプリング	2回/1秒
使用温湿度	0℃～+50℃、80%RH以下(結露の無い事)
保存温湿度	-20℃～+60℃、80%RH以下(結露の無い事)
電源	CR2032コイン電池×1個
寸法	本体:W61×H114×D14mm センサー:約W25×L67mm(クリップ部) Φ6mm(温度感知部) コード長:1,500mm
重量	約180g(電池、収納ケース含む)
付属品	収納ケース、CR2032コイン電池×1個(内蔵)、取扱説明書

本器の仕様及び外観は、改良の為予告なく変更する場合があります。
※ 本器に付属の電池は試供品です。
市販の通常の電池よりも電池寿命が短い事があります。
※ 重量は、電池、収納ケースを含みます。

3. 各部の名称

○本体

○センサー部 (T1: 赤、T2: 黒)

4. 表示

T2 温度表示部

MAX MIN APO

188.8℃

188.8℃

T1 温度表示部

表示イラストはイメージです。同時に全ては表示されません。

表示	内容
T1温度表示部 T2温度表示部	センサーT1とT2それぞれの温度を表示します。 測定範囲外の温度の時は“HHHH”または“LLLL”が表示されます。
MAX	最高温度表示時に点灯します。
MIN	最低温度表示時に点灯します。
HOLD	測定温度を固定表示させている時に点灯します。
AP0	オートパワーオフ機能有効時に点灯します。
Δ	リラティブ機能有効時に点灯します。
T ₁ -T ₂	T1とT2の温度差を表示するときに点灯します。
🔋	電池残量が少なくなると点灯します。

250201

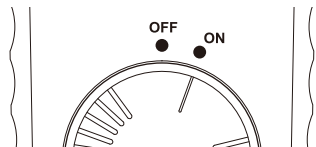
5. 使用方法

ご使用になる前に

開梱したらすぐに本体や付属品にキズや変色など外観上の異常がないかを確認してください。

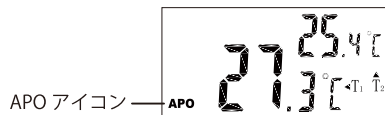
5-1. 電源の入／切のしかた

- 電源を入れる場合
ロータリーダイヤルを右に回します。
「現在の温度」が表示されます。



- 電源を切る場合
ロータリーダイヤルを左に回します。
表示が消えて電源が切れます。

- オートパワーオフ機能
本器は、ボタン操作をしないで約30分放置するとオートパワーオフ機能により電源が切れます。
オートパワーオフ機能有効時は表示部に“APO”アイコンが表示されます。

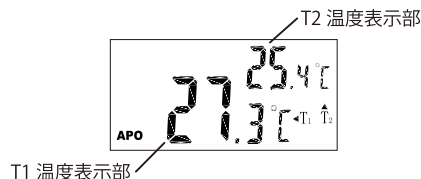


オートパワーオフ機能を無効にする時はHOLD ボタンを押しながらロータリーダイヤルを右に回します。
“APO”アイコンが消灯します。

5-2. 温度の測り方

- センサー部のクリップをつまんで開き、測定対象に取付けます。
センサー部先端の温度感知部が測定対象(空調の吹き出し口等)に当たる様に取付けてください。
- しばらく待って表示温度が安定したら、そのときの温度を読み取ります。

LCD表示部中央にセンサーT1の温度が、右上にセンサーT2の温度がそれぞれ表示されます。

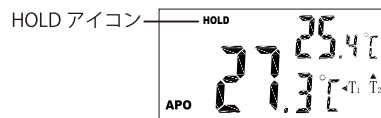


※60℃以上の測定を行う際は、できるだけ短時間で測定してください。(プラスチック部品の破損の原因となります。)
※同じ場所を測定していても、空調機の吹き出しの風の流れや周囲の温度の対流等で必ずしも同じ温度が表示されるとは限りません。

5-3. ホールド機能

測定温度を固定表示する機能です。

- ホールド機能を有効にする場合
測定中にHOLDボタンを押します。
表示部に「HOLD」が点灯し、T1、T2共に測定温度の表示が固定されます。
以降、温度が変化しても表示は変化しません。

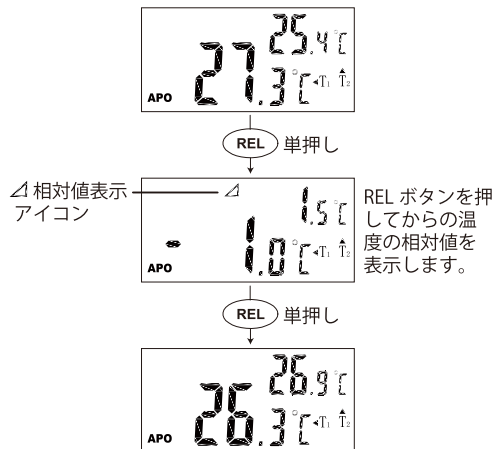


- ホールド機能を無効にする場合
表示部に「HOLD」が点灯している時、HOLDボタンを押します。
表示部の「HOLD」が消灯し、現在の温度が表示されます。

5-4. リラティブ(相対値表示)機能

センサーT1とT2のそれぞれの相対値を表示する機能です。

- RELボタンを押すと表示部に「Δ」アイコンが表示されます。
ボタンを押した時の温度を基準として、その後の温度の相対値を表示します。
(温度が下がった時はマイナスの温度で表示されます。)
- リラティブ機能を解除するときは再度RELボタンを押してください。



5-5. T1-T2(温度差表示)機能

センサーT1とセンサーT2の温度差を表示する機能です。

- T1-T2ボタンを押すと表示部にアイコンが表示されます。
T1の温度表示部にはT1からT2の温度を差し引いた温度が表示されます。
T2の温度表示部にはT2の温度が表示されます。
T2の温度よりもT1の温度が低い時はマイナス表示になります。
- T1-T2機能を解除するときは再度T1-T2ボタンを押してください。



5-6. 最高温度/最低温度表示

MAX/MINボタンを押してから測定した最高温度や最低温度を表示する機能です。

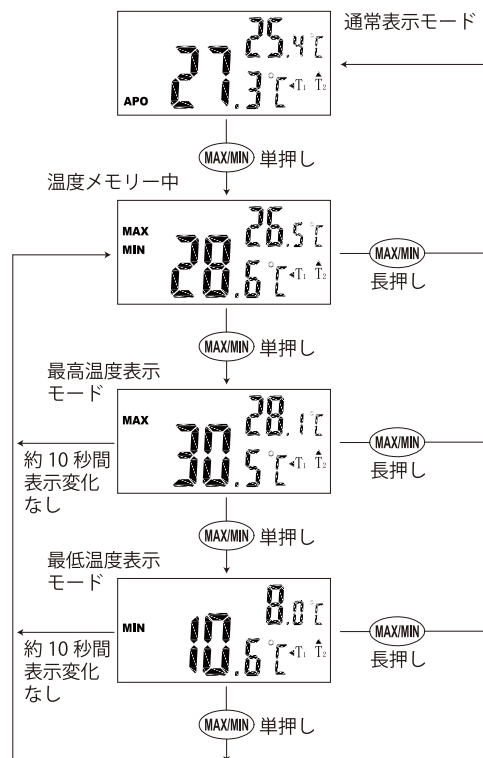
- MAX/MINボタンを押すと表示部に“MAX”、“MIN”が表示されセンサーT1とセンサーT2の最高温度、最低温度を記憶します。(この時は現在の温度を表示します。)
- その後MAX/MINボタンを一度押すと、“MAX”表示になり、MAX/MINボタンを押してからの最高温度を表示します。
※最高温度表示時に最高温度が更新されると表示も更新されます。
- もう一度MAX/MINボタンを押すと、“MIN”表示になり、MAX/MINボタンを押してからの最低温度を表示します。
※最低温度表示時に最低温度が更新されると表示も更新されます。

MAX表示、MIN表示時に10秒間測定温度の変化が無いと“MAX/MIN”表示に戻ります。

MAX/MIN表示機能を解除するときはMAX/MINボタンを長押しします。

MAX/MIN表示時はオートパワーオフ機能は解除され、APOのアイコンは消灯します。

※MAX/MIN温度は通常表示モードに戻るか電源を切るとクリアされます。



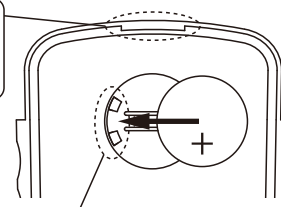
6. メンテナンス

6-1. 電池の交換

電池の残量が少なくなると表示部の電池残量マーク(🔋)が点灯します。
電池残量マークが点灯したら、電池の交換を行ってください。

- 収納ケースから本体を取り出し、ラバーケースを取り外します。
- 本体の裏ケースのネジをドライバーで外します。
- 裏ケースを取り外し、古い電池を取り外したら新しい電池を極性を合わせて電池収納部に入れます。
※電池の極性は、プラス(+)側が上になる様にします。
- 表ケース上部の爪を引っ掛けてから裏ケースを閉じ、ネジを締めます。
- 最後にラバーケースをかぶせ収納ケースに取付けてください。

表ケース上部の爪を引っ掛けながら裏ケースを閉じてください。



電池は側面の電池端子を押し潰さない様、電池端子を潜る様に斜めから装填してください。

6-2. 日常のお手入れ

本体が汚れた時は、乾いた布で汚れを拭き取ってください。
汚れがひどい時は、中性洗剤を含ませた布を固く絞り、軽く拭き取ってください。
研磨剤や、アルコール、シンナー、ベンジンなどの揮発性溶液は表面仕上げを痛めたり、機能の低下や故障の原因となりますので、絶対に使用しないでください。

6-3. 校正

正確な測定を行うため、定期的に校正機関で校正を行うことをお勧めします。
校正推奨期間は、年1回です。
費用と納期については、販売店様へ見積もり依頼してください。

⚠ 注意

本体部の使用温度範囲は、0℃～50℃です。
本体部分を使用温度範囲外で使用すると、内部の電気回路が正常に動作せず、正しい測定ができない場合があります。

